

立冬（りっとう）



11月8日頃（2019年は11月8日）。および小雪までの期間。

太陽黄径225度。

霜降から数えて15日目頃。

立冬とは、冬の始まりのこと。

「立」には新しい季節になるという意味があり、[立春](#)、[立夏](#)、[立秋](#)と並んで季節の大きな節目です。

※これらを四立（しりゅう）といいます。

朝夕冷えみ、日中の陽射しも弱まって来て、冬が近いことを感じさせる頃。[木枯らし1号](#)や初雪の便りも届き始めます。

立冬を過ぎると、初霜が降りて冬の佇まいへと変わります。

この日から[立春](#)の前日までが冬。

木枯らし・凧

晩秋から初冬にかけて吹く、冷たくやや強い風。

気象的には、10月半ばから11月末にかけて西高東低の冬型の気圧配置の時、最大風速8m/秒以上の西北西から北向きの風のことをいいます。

「凧」という文字には、風が吹くたび葉が落ちるため、木を枯らしてしまう風という意味があります。